



# Pure 純 No.155 Pacific パ May.2011

純パの会会報『純パ』第155号

2011年5月28日発行

発行：純パの会

〒193-0816 東京都八王子市大楽寺町155-10 吉田方  
TEL & FAX.0426-52-1066

## 大震災を背負って開幕 ~4/29Kスタ開幕戦観戦記 吉岡 徹也(宮城県仙台市)

今年のプロ野球は、私にとっても生涯忘れられないものになるはずである。

3月11日の東日本大震災は、地震による損壊も甚大なものがあつたが、特に東北地方の太平洋沿岸への大津波は凄惨な被害をもたらした。その後の全国、そして海外からの物心両面にわたるご支援には、唯々感謝の気持ちで一杯である。言葉で言い尽くせない。

プロ野球は、パの、そして選手会の皆さんのご尽力で開幕を3月25日から4月12日に延期していただいた。大震災の2週間後は、被害の軽微だった私の家にしても水道、ガスがまだ復旧しておらず、とても野球観戦をするような状況、心境ではなかった。東北のプロ野球ファンにとっては、ベターの方針変更をして頂けたと、これも心から感謝している。

こうして4月12日火曜日、プロ野球が幕を開けた。一方でイーグルスのホーム球場、日本製紙クリネックススタジアム宮城では、補修工事が大詰めを迎えていた。

イーグルスの開幕試合は、今年から呼称の変わったQVCマリンフィールドでのマリーンズ戦(デーゲーム)であった。もちろん、相手は昨年日本チャンピオンである。新生星野イーグルスがどんな挑戦をするのか、午後1時をラジオの前でわくわくしながら待った。この日、テレビのオンタイムでの放送はなかった。2時過ぎから定期検診で病院に出かけざるを得なかったがカーラジオで繋ぎ、6対4の勝利を噛みしめることが出来た。岩隈の好投、嶋の勝ち越し3ランが目立ったゲームだったが、私には被災地に元気、勇気を与えるためにチームが一丸となって掴んだ勝利のように感じた。シーズン・イン直前、選

